

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
31	4-1-1 農業 施策と展開方針 1「持続可能な営農と農地集積の推進」	国の成長戦略の中では、生産性向上のため、大きな経営体に対する支援が中心になっており、零細農家に対する支援が期待できない状況である。市町村段階で家族経営の小規模農家に対するきめ細かな支援を行うことが持続可能な農業につながると考えるため、そのような施策と展開方針も検討されたい。	1 持続可能な営農と農地集積の推進 ○J A上伊那や関係機関と連携し集落営農法人等の経営の安定を支援するとともに、地域ぐるみで農業振興、農業生産力の維持を図ります。	1 持続可能な営農と農地集積の推進 ○J A上伊那や関係機関と連携し、 <u>認定農業者</u> 、集落営農法人等の経営の安定、 <u>家族経営の兼業農家の営農継続を支援し</u> 、地域ぐるみで農業振興、農業生産力の維持を図ります。	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
32	4-1-1 農業 施策と展開方針 3「担い手・新規就農者の支援育成」	子どもたちへ野菜づくりの楽しさを伝える農業体験や教育の推進について、記載を検討されたい。	8 農業による地域活性化 ○花卉生産者及び他市町村との連携を図り、花育事業の取組を上伊那管内の小学校に拡大します。	8 農業による地域活性化 ○花卉生産者及び他市町村との連携を図り、花育事業の取組を上伊那管内の小学校に拡大します。 <u>また、子どもたちに野菜づくりの楽しさを伝える農業体験等を推進します。</u>	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
33	4-1-1 農業 施策と展開方針 3「担い手・新規就農者の支援育成」	ライフスタイルの一部として小規模でも農業をしたいという移住希望者が増えている。農地を集積し、JAで研修を受けて農産物を生産するような新規就農者とは別の枠組みとして、既存の農業形態にとらわれない新規就農者への支援についても記述があると移住定住の促進につながると考えるため、記載を検討されたい。	3 担い手・新規就農者の支援育成 ○農業体験研修を通して、伊那市の農業に関心を持っていただき、就農相談やJ Aインターン制度などを充実し、新規就農者の確保を目指します。	3 担い手・新規就農者の支援育成 ○農業体験研修を通して、伊那市の農業に関心を持っていただき、就農相談やJ Aインターン制度などを充実し、 <u>新規就農者の確保を目指します。また、移住定住者の多様な形態の新規就農を支援します。</u>	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>  (移住定住者の農業には、農振農用地で30 a以上(農振農用地以外では4 a以上)の農地を耕作する新規就農、住宅の敷地の一角に小規模の家庭菜園を持つ場合がある。農業振興策としては、新規就農を積極的に支援していきたい。)
34	4-1-1 農業 施策と展開方針 4「鳥獣被害対策と農地保全」	様々な鳥獣対策が行われている一方で、新たな被害も課題となっており、被害の状況も年々変わってきているため、新たな対策に期待しているため、記載について検討されたい。	4 鳥獣被害対策と農地保全 ○「伊那市鳥獣被害防止計画」の中で設定した捕獲計画数をふまえ、伊那市有害鳥獣対策協議会、上伊那鳥獣被害対策協議会と連携し、個体数や被害状況を把握し、対策を実施します。	4 鳥獣被害対策と農地保全 ○「伊那市鳥獣被害防止計画」の中で設定した捕獲計画数をふまえ、伊那市有害鳥獣対策協議会、上伊那鳥獣被害対策協議会と連携し、 <u>個体数や被害状況を把握・検証に努め、適確な対策を実施します。</u>	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
35	4-1-1 農業 施策と展開方針 4「鳥獣被害対策と農地保全」	土地改良施設の老朽化が進み、30年から50年経過している場所もある。ハード的な改修や維持管理についての記載を検討されたい。		<b>【第1次総合計画での主な取組】</b> ○ <u>用排水施設の長寿命化など土地改良事業を推進するとともに、生産施設や集出荷施設整備等の支援に努めました。</u> (追加)  <b>【施策と展開方針】</b> ○ <u>引き続き農業用水の安定確保に向け、土地改良施設の整備や長寿命化を推進します。</u> (追加)	<u>意見を踏まえ、追記します。</u>
36	4-1-1 農業 施策と展開方針 6「特産品の開発」 7「伊那産ブランドの確立と販売体制の強化」	JA上伊那では、戦略重点作物を栽培する農業者へ多額の投資を行っている。市で推奨する特産品ももちろん大事であるが、市とJAと連携して、戦略重点作物を栽培する農家への支援を強化することにより、伊那市の特徴が出て、農家の収入増へもつながっていくと考えるため、記載について検討されたい。	7 伊那産ブランドの確立と販売体制の強化 ○伊那産ブランドの確立により、生産者の所得増を図ります。	7 伊那産ブランドの確立と販売体制の強化 ○ <u>地域の特性に応じた作物の振興、生産支援</u> 、伊那産ブランドの確立により、生産者の所得増を図ります。	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
37	4-1-1 農業 施策と展開方針 8「農業による地域活性化」	グローバルギャップ認証取得を推進する取組を加速させていく必要があると考えるため、記載について検討されたい。	2 利益のあがる水田農業と畑作農業の振興 ○伊那市は今後も安全安心な農作物を供給するため、消費者に信頼される生産体制を確立する施策を推進します。また、国の環境保全型農業直接支払交付金の活用を支援します。	2 利益のあがる水田農業と畑作農業の振興 ○伊那市は今後も安全安心な農作物を供給するため、 <u>G A P (農業生産工程管理)の推進と、さらに高度な取組の導入を検討するとともに、消費者に信頼される生産体制を確立する施策を推進します。</u> また、国の環境保全型農業直接支払交付金の活用を支援します。	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
38	4-1-1 農業 施策と展開方針 8「農業による地域活性化」	物流コストが高騰する中、長野県の有利な立場を踏まえ、交通・物流網の改善と農業振興の観点から、5年後を見据えた伊那市の農業政策の方針などについての記述も検討されたい。	7 伊那産ブランドの確立と販売体制の強化 ○生産者が販売店や消費地との間に販路を構築し、安定して首都圏等の大消費地に農産物を出荷販売することで、生産者の所得増と市内の農業振興を図ります。	7 伊那産ブランドの確立と販売体制の強化 ○ <u>首都圏や大消費地に近い立地を生かし、また、今後の三遠南信自動車道の整備等も視野に入れ、販路を開拓し、安定して大消費地に出荷販売することで、生産者の所得増と農業振興を図ります。</u>	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>
39	4-1-2 林業 施策と展開方針 4「森林被害防止対策の充実」	松くい虫対策について、調査・研究をするという記述だけでなく、薬剤処理や伐採による対応など、被害の拡大を防ぐ具体的な対策についての記述を加えることができないか検討されたい。	4 森林被害防止対策の充実 ○松くい虫対策については、守るべき松林と材として活用する松林を区分しながら、樹種転換の推進を図るとともに、ドローンによる被害調査の研究を進めます。  ○ <u>猟友会員の負担軽減のため、見回りの簡素化等に向けた研究を進めます。</u>	4 森林被害防止対策の充実 ○ <u>松くい虫対策については、守るべき松林、被害防止区域の特定を図り、活用すべき松林については更新伐や樹種転換策を推進し、松くい虫被害の拡大を最小限に抑える取組を進めます。</u> ○ <u>ドローン等を活用した松くい虫早期感染木調査や、あらゆる効果的な対策について、市の松くい虫対策協議会で検討を進め取組みます。</u> ○ <u>ニホンジカ、サル、カラスなどの鳥獣被害については猟友会と連携した取組を進め、被害拡大を抑制するとともに猟友会員の負担軽減の研究を推進します。</u>	<u>意見を踏まえ、原案を修正します。</u>

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
40	4-1-2 林業 施策と展開方針 6「環境学習の推進」	「森林教育」とあるが、「森林環境教育」とするほうが適していると思うので、語句を検討されたい。	6 環境学習の推進 ○森林を育て、守るための子供たちへの森林教育の推進を図ります。	6 森林環境学習の推進 ○生物多様性の保全・向上を図るため、子どもから大人まで、市民参加型の里山の保全活動等を推進します。 ○学校林や地域の森林などを活用した森林環境教育を推進します。	意見を踏まえ、原案を修正します。
41	4-1-2 林業 施策と展開方針	農業分野と比べ、林業分野の記載が少ないと感じる。林業成長産業化地域の指定に伴う財源の確保により、大きな展開があることに期待しているため、50年の森ビジョンとの関連を持たせ、国・県・市それぞれの財源を活用して具体的に取組む施策等の記載をお願いしたい。	1 計画的な森林整備の推進 ○「伊那市50年の森林(もり)ビジョン」の具体的な目標についての実行計画をまとめ、森林整備を推進します。 ○林地台帳を整備することにより、森林所有者の特定と集約化の推進を図ります。  2 林業の振興 ○林業・木材産業関係者と連携し、林業後継者の確保・人材育成を推進します。  3 治山治水事業の推進 ○山地保全・機能向上の推進を図ります。  5 森林資源活用の推進 ○市域材の活用について、市でも様々な施策を講じているが、さらに林業事業者や木材産業の関係者と連携し、伊那市50年の森林(もり)ビジョンを推進します。 ○製造業者や木工職人等の育成を図ることにより、地域循環型の森林資源活用を推進します。 ○木質ペレット、薪を中心に木質バイオマスを活用・普及させるとともに、ペレットストーブ、薪ストーブの普及拡大も推進します。	1 計画的な森林整備の推進 ○「伊那市50年の森林ビジョン」で掲げる「山(森林)が富と雇用を支える50年後の伊那市」を理念として、ビジョン実行計画に沿った取組を推進します。 ○伊那市50年の森林ビジョンを実現させるため、市民団体等と連携を図りながら、市民の積極的な参加を促すとともに、市民が担う目標達成に向けた取組を推進します。 ○長野県森林づくり県民税や国において導入予定の森林環境税などを活用し、森林整備を推進します。  2 林業の振興 ○人材の育成、林業と木材産業の連携、地域材の活用、木質バイオマスの利用促進(薪・ペレット)等を強化し、森林の生産力と林業経営向上を目指します。 ○林業成長産業化地域創出モデル事業により、所有者や境界不明森林等に対応する新たな「森林管理システム」により、森林整備を促進します。 ○林業と農業に境なく取り組むことにより、森林や農地といった地域資源を一層有効に活用し、従事者の所得向上も期待できることから、農林業の連携を推進します。  3 治山治水事業の推進 ○山地保全が必要な森林等のゾーニングを基に山地保全対策(治山事業・砂防事業)に取り組むとともに、森林機能の向上において間伐等の森林整備を推進します。  5 森林資源活用の推進 ○地域材の公共建築物への活用を推進し、伊那市産の木材を地域内で使う仕組みづくりに努めます。 ○工務店、建築士、他産業などの連携を推進し、民間での地域材の利用拡大を図ります。 ○木質ペレット、薪を中心に木質バイオマスの活用・普及を図り、市域の木材生産量、利用量の拡大に努めます。	意見を踏まえ、原案を修正します。
42	4-1-2 林業 施策と展開方針	林道整備による生産性の向上についての考えや方針があるとすれば、その点についても記述を検討されたい。		(整理番号41に記載)	意見を踏まえ、原案を修正します。
43	4-1-2 林業 施策と展開方針	市民と森林との距離が離れてしまっていることに大きな問題意識を持っている。市民と森林の関わりを推進していくような記述があることが望ましいと考えるため、記述を検討されたい。		(整理番号41に記載)	意見を踏まえ、原案を修正します。

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
44	4-1-2 林業 施策と展開方針	生活スタイルの変化から、「農業」「林業」という分類よりも「農林業」で一体的にとらえたほうが、市民にとっても身近な課題として、市民意識に近づくと思うので、そうした記載についても検討されたい。		(整理番号41に記載)	<b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
45	4-1-2 林業 施策と展開方針	森林管理に理解のない者への権利移動等により、森林整備や保全活動に支障が出ているため、権利移動の規制等についても記述を検討されたい。		(整理番号41に記載)	<b>個人の所有権を規制することは難しいが、森林整備の妨げとなる境界不明や所有者不明については、今後、新たな森林管理システムで対応する。</b>
46	4-1-3 工業等	「等」の表記は建設業や運輸業を意識したものであると理解するが、読み手には分かり難いので、中身を明確にすることを検討されたい。			(部) 表記のしかたについて、修正すべきところは修正する。  <b>以下の理由で原案のとおりとします。 「等」には建設業も含まれていますが、鉱業、採石業、運輸業など、他の業種も含めた想定であり、全てを表記することは困難なため、現状のとおりとしたい。</b>
47	4-1-3 工業等 現状と課題	「コワーキングスペースの不足や働き方改革の遅れ」が課題として取り上げられているが、この内容に対応する施策や展開方針が示されていないので、記述を検討されたい。		4 成長分野産業の支援等 <u>○中心市街地の活性化を含め、空き店舗を活用したコワーキングスペースの設置を支援します。</u> (追加)	(部) 中心市街地における空き店舗の活用などを含め、取り組みを進めたいので、追記する。  <b>意見を踏まえ、原案に追加します。</b>
48	4-1-3 工業等 施策と展開方針 2「中小企業の経営支援」	「中小企業」という表現は非常に幅広い表現であるので、「中小企業・小規模事業者」のほうが適していると思われる。伊那市の中で圧倒的に多いのは「小規模事業者」であるため、「小規模事業者」という表現を加えるよう検討されたい。(商業・サービス業の分野では、その言葉が使われている。)	【第1次総合計画での主な取組】 ○中小企業者が行う新技術開発事業や産学官共同開発事業への支援施策を実施するとともに、市内企業が連携し、地域資源を活用した製品開発事業「製造業ご当地お土産プロジェクト」への支援を行いました。  【第2次総合計画における施策と展開方針】 3 産業人材の育成と確保 ○中小企業者に対し、長野県南信工科短期大学校による在職者訓練や大手企業、上伊那産業振興会が開催する研修プログラムへの参加を促し、伊那商工会議所、伊那市商工会とも連携して人材の育成と確保対策を図ります。	【第1次総合計画での主な取組】 ○中小企業者・ <b>小規模事業者</b> が行う新技術開発事業や産学官共同開発事業への支援施策を実施するとともに、市内企業が連携し、地域資源を活用した製品開発事業「製造業ご当地お土産プロジェクト」への支援を行いました。  【第2次総合計画における施策と展開方針】 3 産業人材の育成と確保 ○中小企業者・ <b>小規模事業者</b> に対し、長野県南信工科短期大学校による在職者訓練や大手企業、上伊那産業振興会が開催する研修プログラムへの参加を促し、伊那商工会議所、伊那市商工会とも連携して人材の育成と確保対策を図ります。	(部) 小規模事業者の位置づけ、表記させていただきたい。  <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
49	4-1-3 工業等 施策と展開方針 4「成長分野産業の支援」	専門のコーディネーターや指導者の育成・設置が重要であると考えため、記載について検討されたい。	【第2次総合計画における施策と展開方針】 4 成長分野産業の支援 ○IoTやAI、ロボットなどの新技術、ドローンや自動運転による新産業への取組に対して支援を行います。	【第2次総合計画における施策と展開方針】 4 成長分野産業の支援 ○IoTやAI、ロボットなどの新技術、ドローンや自動運転による新産業への取組を支援するとともに、 <u>ノウハウを持った人材の育成に取組みます。</u>	(部) コーディネーターの育成の関係、表記させていただきたい。  <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
50	4-1-4 企業誘致・企業留置 施策と展開方針	大企業のサテライトオフィスやバックアップオフィスを地方に展開する動きもあるため、当地は災害の少ない、企業にとって有利で安心な土地であることを明記していただきたい。	【施策と展開方針4 情報発信の強化】 ○全国の企業の目に留まるためのリーフレット、チラシの改定や専用ホームページの更新頻度や質の向上に努め、企業誘致に結びつく、より効果的な情報発信を行います。	【施策と展開方針4 情報発信の強化】 ○全国の企業の目に留まるためのリーフレット、チラシの改定や専用ホームページの更新頻度や質の向上に努めるとともに、 <u>災害が少なく企業にとって安心な土地であることをアピールするなど</u> 、企業誘致に結びつく、より効果的な情報発信を行います。	(部) 意見のとおり表記を検討する。  <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
51	4-1-4 企業誘致・企業留置 施策と展開方針	市では創業支援センターに加え、市役所庁舎の東側にパノラマオフィス伊那を整備した。そうした施策が起業・創業支援につながると期待している。サテライトオフィスを活用した企業誘致という視点も表現として加えるよう検討されたい。	【施策と展開方針1 誘致の充実】 ○関係団体との連携による、情報収集や情報発信及び積極的な企業訪問に取り組み、企業誘致による職種や雇用の創出及び産業振興と地域の活性化を目指します。	【施策と展開方針1 誘致の充実】 ○関係団体との連携による、情報収集や情報発信及び積極的な企業訪問に取り組み、 <u>企業誘致や、サテライトオフィスの誘致</u> による職種や雇用の創出及び産業振興と地域の活性化を目指します。	(部) 意見のとおり表記を検討する。  <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
52	4-1-5 商業・サービス業 施策と展開方針	商店街自体の機能を変えていかないと中心市街地の課題は解決しない。卸売業・小売業やサービス業だけで中心市街地を語ることは無理がある。中心市街地の中でも住宅街になったほうが良い地域やサテライトオフィスを誘致して、昼間の人口を増やし、その中で生き残れる商店街をつくっていくとか、多様な機能を中心市街地に持たせられたらよいと思う。中心市街地のあり方についての長期的なビジョンを検討されたい。	【施策と展開方針1 中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援】 ○中心市街地の空き店舗等を多目的な用途に活用していくなど、新たな地域コミュニティの場としての機能を備えた新しいまちづくりを推進します。	【施策と展開方針1 中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援】 ○中心市街地の空き店舗等を <b>事務所など</b> 多目的な用途に活用していくなど、新たな地域コミュニティの場としての機能を備えた新しいまちづくりを推進します。	(部) 総合計画の中でどのように表現していくか検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
53	4-1-5 商業・サービス業 施策と展開方針 1「中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援」	インバウンドにしっかり取り組んでいくことが大切である。受け入れ態勢の充実が課題であると思うので、受け入れ態勢の整備することについても記述を検討されたい。	【施策と展開方針1 中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援】 ○観光客やインバウンド等、市外から訪れる人の中心市街地への積極的な誘導に取り組めます。	【施策と展開方針1 中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援】 ○観光客やインバウンド等、市外から訪れる人の中心市街地への積極的な誘導と <b>インバウンドの受け入れ環境の整備に向けて</b> 取り組めます。	(部) 受け入れ態勢の整備について表記を考える。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
54	4-1-5 商業・サービス業 施策と展開方針 1「中心市街地の活性化と愛される商店街づくりの支援」  4-3-1 観光 施策と展開方針 5「農家民泊・インバウンドの推進と充実」	インバウンドの推進にあたり、外国人と日本人では、ものの考え方、感じ方、価値観が異なるため、そのことを考慮した施策展開や受け入れ態勢の構築が必要となる。①多様な外国人の意見を反映すること。②様々な場面で、外国人にもまちづくりへ参画してもらうこと。の2点を計画に明記することを検討されたい。			<b>以下の理由により、原案のとおりとします。</b>  <b>ご提案の内容は、インバウンドを進める上での一つの手法として、総合計画の下位計画である、個別計画やアクションプランに位置付けます。外国人旅行者のニーズ調査等を踏まえ、外国人の目線に立った受け入れ環境の整備等に努めます。</b>
55	4-1-5 商業・サービス業 施策と展開方針 3「地域資源の活用」	市が積極的に支援しているという姿勢を農・商・工横断的に示すことにより、携わっている人々の活力にもつながると思うので、信州そば発祥の地、アルプス、桜の例示に加え、関連性のある内容(例えば、井上井月、ローメン、ソースかつ丼、先ほど林業の分野でも出てきた進徳の森林など)をここで具体的に示すことはいかがか。	【施策と展開方針3 地域資源の活用】 ○「信州そば発祥の地」「アルプス」「桜」など、地域ブランド力を活用し、まちへの誘客を促進するため、農商工観連携による新たな事業への進出や起業など、意欲的な取組を支援します。	【施策と展開方針3 地域資源の活用】 ○「信州そば発祥の地」「アルプス」「桜」などの <b>観光資源に加え、農林産物を活用した農林商工観連携</b> による新たな事業への進出や起業など、意欲的な取組を支援します。	<b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
56	4-2-2 起業・創業支援 施策と展開方針 1「起業・創業支援による雇用促進」	○「若者の起業マインドの醸成」と書かれているが、若者に限らず、女性やI・Uターンの方へも起業という選択肢をPRしていくことが重要である。起業・創業に対して関心が薄い層へのPR・意識高揚により、機運を高めていくことについても検討されたい。  ○退職された方と若者のマッチングも創業支援になると考える。若者にとらわれず、シニア層の創業支援も同様に検討されたい。	【施策と展開方針1 起業・創業支援による雇用促進】 ○意欲ある起業希望者を呼び込むなど、市内での起業・創業を促進することにより、自らが仕事をつくり出すことのできる環境づくりに取り組めます。  ○若者の起業マインドを醸成するため、学生を対象にした起業に関する教育の実践や融資制度の充実など、支援に努めます。	【施策と展開方針1 起業・創業支援による雇用促進】 ○ <b>市内での起業・創業を促進するため、U・I・Jターナー者など意欲ある起業希望者を呼び込むことにより、自らが仕事をつくり出すことのできる環境づくりに取り組めます。</b> ○若者 <b>や女性、シニア層など幅広く</b> 起業マインドを醸成するため、 <b>起業に関する教育の実践やセミナーの開催、</b> 融資制度の充実など、支援に努めます。	(部) 若者に限らず、幅広い層へのPRに努めたい。表記については検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
57	4-2-2 起業・創業支援 施策と展開方針 1「起業・創業支援による雇用促進」	○中心市街地で実施している「朝マルシェ」について、良い取り組みであると思うが、起業の動機づけとどのように関係しているのか?記述の意図や起業との関係性が少し分かり難いので、表現を工夫されたい。  ○ここに載せていただくことで朝マルシェもやりやすくなる。	【施策と展開方針1 起業・創業支援による雇用促進】 ○「伊那まちの再生やるじゃん会」など関係団体と連携し、中心市街地で開催される「朝マルシェ」など、おためしで気軽に来店できる機会づくりによる起業の動機づけとなる取組を支援します。	【施策と展開方針1 起業・創業支援による雇用促進】 ○「伊那まちの再生やるじゃん会」など関係団体と連携し、中心市街地で開催される「朝マルシェ」など、おためしで気軽に来店できる機会を <b>創出する取組を支援します。</b>	<b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
58	4-2-2 起業・創業支援 施策と展開方針	起業に至るまでの部分におけるサポート体制が重要であるため、起業しようとする人をサポートするメンター制度の導入・充実について、記述を検討されたい。		【施策と展開方針1 起業・創業支援による雇用促進】 ○ <b>商工団体の開催する「創業スクール」等への支援を通じ、経営指導員による起業希望者のサポート体制の強化を図ります。</b> (追加)	(部) メンター制度についても十分検討する。 <b>意見を踏まえ、原案に追加します。</b>
59	4-2-2 起業・創業支援 KPI	市の補助金を活用して起業した件数の目標値は、5年間の累計を表示する修正を検討されたい。	【まちづくり指標(KPI)】 市の補助金を活用して起業した件数 2017(H29): 5件 ⇒2023: 5件 備考欄: 空欄	【まちづくり指標(KPI)】 市の補助金を活用して起業した件数 2017(H29): <b>43件</b> ⇒2023: <b>68件</b> 備考欄: <b>目標値は、2006年度(平成18年度)からの累計</b>	(部) 累計を目標とするように改める。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
60	4-3-1 観光 主な取組 現状と課題	文量のボリュームが多いのでそれだけ大事な分野であるということも理解するが、もう少し整理して記述したほうが分かりやすいと思うので、全体的に内容を精査されたい。		別紙修正案(見え消し箇所)のとおり	(部) 少し整理して表記する <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
61	4-3-1 観光 施策と展開方針 1「観光資源の構築と有効な活用」	中心市街地も立派な観光資源になり得るという意見に賛同する。中心市街地へ観光客を呼び込むことで、中心市街地の活性化にもつながると考える。観光資源の一つとして、中心市街地も追記するよう検討されたい。			(部) 表記について検討する。 <b>以下の理由により、原案のとおりとします。</b> <b>中心市街地については、「多様な観光資源」のひとつとして整理し、計画に位置付けます。ここでは、その中でも主要な観光資源として、山・花・食の展開方針を記述することとします。</b>
62	4-3-1 観光 施策と展開方針 1「観光資源の構築と有効な活用」	友好都市におけるタカトオコヒガンザクラの開花時期の差を活用し、日本を縦断する形で長い間が花が楽しめるというような切り口のPR方法もあるのではないかと。体制・組織づくりについても検討されたい。			(部) 表記について検討する。 <b>以下の理由により記述はしません。</b> <b>PR手法の一つとして検討してまいります。</b> <b>新宿区等の友好都市と連携する中で誘客に努めます。</b>
63	4-3-1 観光 施策と展開方針 1「観光資源の構築と有効な活用」	「体験型観光の構築」とあるが、構築そのものを市で行うわけではなく、市が行うのは「推進」の部分であると思う。市で構築するように読み取れるので、表現を検討されたい。	○体験型観光の構築、経済効果の高い滞在型観光など戦略的な観光施策を推進し、観光人口の増加を図ります。	○体験型観光を受け入れるための体制づくりに取り組み、経済効果の高い滞在型観光など戦略的な観光施策を推進し、観光人口の増加を図ります。	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
64	4-3-1 観光 施策と展開方針 2「おもてなしの心の醸成」 5「農家民泊・インバウンドの推進と充実」	「観光協会」と「(一社)伊那市観光協会」は、同じ団体を指しているということではよろしいか。同じであれば、表現の統一を検討されたい。	○観光協会主導のもと、ボランティアガイドの育成と充実を図り、市民団体活動の支援を通じて、市民参加型の観光体制を構築し、お客様をお迎えするとともに、観光客の満足度向上をめざします。	○(一社)伊那市観光協会と連携し、ボランティアガイドの育成と充実を図り、市民団体活動の支援を通じて、市民参加型の観光体制を構築し、お客様をお迎えするとともに、観光客の満足度向上をめざします。	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
65	4-3-1 観光 施策と展開方針 2「おもてなしの心の醸成」	「観光協会主導」とあるが、観光協会の位置づけがはっきり見えてこないため、位置づけをはっきりさせ、行政と連携して取り組んでいくことがよいと思う。今後の展開も含め、観光協会の位置づけやあり方について記載する項目を1つ追加してもよいのではないかと。		○(一社)伊那市観光協会の役割を明確にし、会員が主体となって活動できる仕組みづくりを支援します。(追加)	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、追記します。</b>
66	4-3-1 観光 施策と展開方針 3「広域連携及び広域観光の推進」	「上伊那DMO」を有益に機能させるための「共同による組織」とはどのような組織を想定しているか?文脈では、上伊那DMOとは別の組織を構築するように読み取れる。上伊那DMOのことであれば、修文を検討されたい。	○2018年度(平成30年度)に組織される「上伊那DMO」を有益に機能させるため、観光を軸とした共同による組織を構築して連携を図り、広域観光を推進します。	○2018年度(平成30年度)に組織された上伊那版DMO「長野伊那谷観光局」と連携を図り、上伊那管内の市町村にあるさまざまな素材をつなげるなど、広域観光を推進します。	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
67	4-3-1 観光 施策と展開方針 3「広域連携及び広域観光の推進」	DMOが発足すると、さまざまなプログラムをたくさんつくることが重要になってくる。プログラムのテーマとなり得る様々な素材があると思われるので、一つのテーマに決め打ちをせず検討されたい。また、そういったプログラムを上伊那DMOでも検討・展開することにより、他の市町村も巻き込んだ周遊型観光が可能になると思われる。		整理番号66と同じ	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
68	4-3-1 観光 施策と展開方針 5「農家民泊・インバウンドの推進と充実」	観光と農業の接点、連携という切り口により伊那市の特徴を表現し、記述を加えていただくと、内容に厚みが出るのではないかと。検討されたい。		○収穫などの各種農業体験を通じ、伊那市ならではの農産物の魅力を発信するとともに、観光素材の魅力と結びつけた農農連携を推進します。(追加)	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、追記します。</b>
69	4-3-1 観光 施策と展開方針 5「農家民泊・インバウンドの推進と充実」	観光と教育のタイアップ、首都圏の学校の校外学習や合宿誘致・受け入れ態勢の強化・推進についても記述を検討されたい。		4-4-1 移住・定住・交流 5 交流人口の拡大(新設)  ○各種スポーツ、イベント、教育・文化・芸術等の合宿誘致を推進し、国内外からの交流人口の増加を図ります。	(部) 表記について検討する。 <b>「4-4-1 移住・定住・交流」の施策と展開方針に「5 交流人口の拡大」を追加し、意見を踏まえた内容を追記します。</b>
70	4-3-1 観光 施策と展開方針	山岳観光に関する視点が欠落していると思われるので、追記を検討されたい。	1 観光資源の構築と有効な活用 ○日本ジオパークに認定され、ユネスコエコパークに登録されている南アルプスの貴重な観光資源を大切に、次世代に引き継ぐとともに、積極的な活用に努めます。	1 観光資源の構築と有効な活用 ○二つのアルプスの魅力を発信するとともに、入笠山や鹿嶺高原などの里山の魅力もあわせて発信するなど、山岳高原観光を推進します。また、日本ジオパークに認定され、ユネスコエコパークに登録されている南アルプスの貴重な観光資源を大切に、次世代に引き継ぐとともに、積極的な活用に努めます。	(部) 表記に追記する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>

第2次伊那市総合計画 前期基本計画(原案)に対する意見整理表(総合計画審議会)

資料No.7-①

【基本計画】

整理番号	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局又は事務局の考え方(部長答弁の要旨)
71	4-3-1 観光施策と展開方針	春の高校駅伝や各種スポーツ大会などで、多くの関係者が伊那市を訪れている。そういう方をおもてなしの心で迎え、再度伊那を訪れてもらうことが大切である。観光分野においても、どこかにスポーツと観光の連携について記述することを検討されたい。	2 おもてなしの心の醸成 ○観光産業の重要性を意識して、市民の観光への理解と意識の高揚を促し、おもてなしのこころと市民アテンドへの取組を推進します。	2 おもてなしの心の醸成 ○観光産業の重要性を意識して、市民の観光への理解と意識の高揚を促し、 <u>観光以外の目的で訪れた方々に対しても、おもてなしの心でお迎えするなど</u> 、市民アテンドへの取組を推進します。	(部) 表記について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
72	4-4-1 移住・定住・交流主な取組	○「中国の北京市通州区との交流を深めた」とあるが、この表現でよるしいか? 今後の方針等にも関わってくることであると思うが、現時点のスタンスや考え方を踏まえた記述となるよう、検討されたい。  ○政治レベルでは大変厳しい状況にあるかもしれないが、政権が変わっても人と人との心の絆は変わらないという取組が行政としても大事であると考えてるので、十分検討されたい。	○国外の友好都市である北京市通州区との交流を深めました。	○国外の友好都市である北京市通州区との交流を <u>図るとともに、日中友好講演会などのイベントを開催し、市民レベルの交流の促進に努めました。</u>	(部) 表現について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
73	4-4-1 移住・定住・交流現状と課題	自治会役員の負担や地縁的なつながりの強さなどが、移住定住の阻害要因となる場合もあり、そうしたことを負担に感じている者が多いことや今のライフスタイルに合わないことは、移住定住の促進とセットで考えていくべきであるので、記述について検討されたい。	○地域の持続的な発展に向け、より効果的な移住・定住施策を推進するため、「移住者」と「移住者を受け入れる社会」が調和し、ともに歩んでいけるような移住促進施策を展開していく必要があります。	○地域の持続的な発展に向け、より効果的な移住・定住施策を推進するため、 <u>移住・定住の阻害要因の解消を図る中で</u> 、「移住者」と「移住者を受け入れる社会」が調和し、 <u>共に</u> 歩んでいけるような移住促進施策を展開していく必要があります。	(部) 文言について検討する。 <b>意見を踏まえ、原案を修正します。</b>
74	4-4-1 移住・定住・交流施策と展開方針 2 「結婚支援の充実」	結婚支援の充実について、もう少しボリュームを持たせ、内容を充実する方向で検討されたい。	2 結婚支援の充実 ○結婚推進事業は、特定の価値観等押し付けない配慮をしつつ、若い世代への相談業務や出会いの場の創出事業などを積極的にを行い、結婚につながる取組を推進します。	2 結婚支援の充実 ○結婚推進事業は、特定の価値観等押し付けない配慮をしつつ、若い世代への相談業務や出会いの場の創出事業などを積極的にを行い、結婚につながる取組を推進します。 <u>○都市部からの移住者や、地域・職場から結婚を希望する方の掘り起しを行い、成婚につながる出会いを提供します。</u> (追加)	(部) 文言について検討する。 <b>意見を踏まえ、追記します。</b>
75	4-4-1 移住・定住・交流施策と展開方針	「交流」の内容が、友好都市との交流や国際交流のことに特化して書かれているが、「交流人口の増加」という概念も重要であると思うので、記述の追加について検討されたい。		<u>4-4-1 移住・定住・交流</u> <u>5 交流人口の拡大(新設)</u>  <u>○地域資源の活用などにより、伊那市のファンを獲得し、交流人口や関係人口の増加につながる事業を推進します。</u> (追加)	(部) 文言について検討する。 <b>「4-4-1 移住・定住・交流」の施策と展開方針に「5 交流人口の拡大」を追加し、意見を踏まえた内容を追記します。</b>